

令和 2 年度事業報告

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

I 概況

2020 年の世界経済は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い急激に後退したが、国際通貨基金（IMF）の最新の世界経済見通し（2021 年 4 月 6 日公表）によれば GDP 成長率はマイナス 3.3%（先進国・地域はマイナス 4.7%）となった。また、内閣府の発表によれば日本の 2020 年度の GDP 成長率はマイナス 4.6%と戦後最悪の落ち込みとなった。しかし、IMF は 2020 年に比べて、2021 年はコロナワクチンの普及等経済回復に向けた大きな変化を指摘し、2021 年の GDP 成長率は 6.0%のプラスを見込んでいる。世界経済は回復に向かっているという方向感はあるとしても、国ごとのワクチン接種の進捗状況には大きな差があり日本経済の回復テンポについては不確実性が伴う情勢と考えられる。

上記の中、令和 2 年度の国内鶏肉需給は、コロナ禍で外食等業務用需要が低迷する一方で「巣ごもり需要」が喚起され、例年と異なる様相を示した。国内の令和 2 年度の鶏肉消費量（推定出回り量）は前年度比 100.8%の 222 万 2663 トンと過去最高となった。なお、消費量のうち全体の 7 割以上を占める国産品は、166 万 5527 トン（前年度比 1.1%増）と 10 年連続の増加となった。とりわけ、家計消費は、食料費の支出額が前年度比 99.3%となる中、111.1%（前年度 100.4%）と食肉類でも最大の増加率を記録した。

また、令和 2 年度の国内鶏肉生産量は、166 万 3186 トン（前年度比 0.8%増）と過去最高となった。これは、コロナ禍でも消費者の生活に欠くことのできない安全で安心の食肉としての底堅い需要に支えられた増産対応の結果であると考えられる。

一方、鶏肉輸入については、ブラジルからの輸入が前年度比 4.7%の減少となったこと等から全体で前年度比 3.4%減の 55 万 2491 トンと約 2.0 万トン減少した。調整品も前年度比 7.7%減の 46 万 7304 トンと約 3.93 万トン減少した。

このような状況の中、鶏肉の卸売価格は大幅な上昇を示し、前年度対比でも 126.2%、むね 139.4%となった。

食鳥産業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症が完全な収束に至らない状況下で経済回復の見通しが不透明であり、さらに人材の確保難や 2020～2021 シーズンのような高病原性鳥インフルエンザ大流行のリスク等の課題も抱え、引き続き厳しい状況にあるといえる。

日本食鳥協会は、会員とともにこれら諸課題へ解決に向けた対応を継続していくとともに、国産鶏肉の消費拡大の一層の推進に努めてきた。具体的には、平成 25 年度に作成した、「あんしんも、おいしさも。国産チキン」をコンセプトとした「国産チキンシンボルマーク」の一層の普及定着を図り、国産チキンの適切な表示と輸入品との差別化を図るとともに、鶏肉の輸出についても、平成 27 年 1 月に設立した「日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会」を中心に、日本産鶏肉の輸出拡大のための各種対策に取り組んできた。創立 60 周年を迎え、更なる食鳥産業の発展・飛躍のために会員との連携をさらに強化し、諸課題に対処していくものとする。

1 家計消費

令和2年度の全国一世帯あたり鶏肉家計消費は、購入数量が18,937g（前年比111.1%）、支出金額が17,445円（前年比111.3%）となっており、購入数量は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、外出自粛による家庭内消費の高まりにより昨年より大きく増量となっている。支出金額も鶏肉市況の相場高等の要因から大きく増額した。

	令和2年度	令和元年度	前年差（g、円）
数量（g）	18,937	17,042	+1,895
金額（円）	17,445	15,679	+1,766

資料：総務省統計局（全国二人以上の世帯）

2 肉用若鶏の処理羽数及び処理重量

令和2年の処理羽数については、好調な鶏肉需要を受け生産者の増産意欲が高まったことなどが挙げられる。また、処理重量については、生産技術の向上による生産成績の改善や育種改良が進んだことなどから、前年に比べ羽数は15,252千羽増羽し、重量も33,764トン増加した。

	令和2年		令和元年		前年差	
	羽数 (千羽)	重量 (t)	羽数 (千羽)	重量 (t)	羽数 (千羽)	重量 (t)
肉用若鶏	725,190	2,163,628	712,493	2,131,953	+12,697	+31,675
廃鶏	87,503	151,220	84,523	147,738	+2,980	+3,482
他肉用鶏	5,147	16,802	5,572	18,195	△425	△1,393

資料：農水省「食鳥流通統計調査」

3 鶏肉輸入量

令和2年度の鶏肉と調整品を合わせた総輸入量は、新型コロナの感染拡大による影響で、前年を△約5.8万トン下回る102万トン（前年比94.6%）となった。

内訳は、鶏肉はタイからの輸入量が増加したものの、ブラジル・米国が減少し、前年を△約2万トン下回る55.2万トン（前年比96.6%）となった。

一方の調製品は全ての国が減少し、前年より△3.9万トン下回る46.7万トン（前年比92.3%）となった。

	鶏肉（トン）		調整品（トン）		合計（トン）	
	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度
ブラジル	401,579	422,908	0	0	401,579	422,908
タイ	133,339	127,950	304,133	316,076	437,472	444,026
中国	8	23	157,758	184,100	157,766	184,123
米国	12,214	16,036	0	0	12,214	16,036
その他	5,351	5,194	5,413	5,917	10,764	11,111
合計	552,491	572,111	467,304	506,093	1,019,795	1,078,204
前年差	△19,620（△3.4%）		△38,789（△7.7%）		△58,409（△5.4%）	

資料：財務省「貿易統計」、A l i c など

4 食鳥相場

品名 \ 項目	上期 (円/kg)		下期 (円/kg)		年間 (円/kg)	
	4月～9月	前年差	10月～3月	前年差	4月～3月	前年差
もも肉	601	+40	680	+93	640	+133
むね肉	261	+33	304	+47	283	+80
もも肉+むね肉	862	+73	984	+140	923	+213

資料：日本経済新聞社「正肉加重平均価格」

令和2年度の加重平均相場のもも肉は、前年大きく超える640円/kg（前年差+133円）、むね肉も、前年を超える283円/kg（前年差+80円）と前年を上回る相場展開となった。

II 事業内容

1 補助事業等の実施状況

(1) 国産食肉等新規需要創出緊急対策事業

(独) 農畜産業振興機構 事業費：6,034千円

補助金：6,034千円

ア. 商品性創出事業（補助率：定額）

(ア) 国産鶏肉新需要創出緊急対策事業推進協議会の開催

コロナ禍で事業開始の見通しが立たない中、状況を見極めつつ継続的調査等実施可能なものから漸次実施する形で事業を開始してきたことから、推進協議会は開催しなかった。

(イ) 消費者ニーズに応じた国産食肉等の品質・規格の調査選定

急増する在留外国人、特にイスラム教徒の国産鶏肉の品質及び規格等に対するニーズを把握するための調査については、昨年度大学等の学食を中心に調査したので、今年度は新たな商品価値に即した国産鶏肉の国内における販路を開拓するため、企業の社食、レストラン等を中心にハラールの潜在的な需要実態調査を実施し、報告書に取りまとめた。

(ウ) 訴求ポイントの科学的検証

訴求ポイントの科学的検証については、コロナ禍における免疫力強化に繋がる国産鶏肉の特長を活かしたメニュー開発と、その科学的分析・検証を女子栄養大学に委託し、出来上がったメニューを各栄養素の含量、栄養価、嗜好性の高い理由を科学的に分析し、報告書に取りまとめた。

(エ) 実証事業の鶏肉料理法の開発・提案された商品、低需要部位を使った加工品の試食会の開催

試食会の開催は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け中止とした。

イ. 実証事業（補助率：1/2以内）

実証事業については、事業への着手が遅れたため、新たな商品価値に即した国産鶏肉の調理法の開発及び国産鶏肉の低需要部位を利用した加工品の試作について、検討会等での方針決定ができず事業を実施できなかった。

(2) 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業

(独) 農畜産業振興機構 事業費：2,240 千円

補助金限度額：2,240 千円

鳥インフルエンザや自然災害の発生等に対応した食鳥の集出荷・処理・流通の円滑化を促進するため、中央段階及び地域段階において検討会を開催し、発生時における対応を事前に協議する。

ア. 緊急時対応に向けた検討会の開催 (補助率：定額)

(ア) 中央検討会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実開催が難しいため、オンライン会議を開催した。

- ・ 第1回緊急時鶏肉処理体制整備中央検討会 令和2年11月12日開催
- ・ 第2回緊急時鶏肉処理体制整備中央検討会 令和3年 1月28日開催
- ・ 第3回緊急時鶏肉処理体制整備中央検討会 令和3年 3月11日開催

(イ) 地域検討会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実開催が困難なため、オンライン会議を開催し、鳥インフルエンザ防疫体制の徹底についての情報交換会等を実施した。

- ・ 第1回高病原性鳥インフルエンザ情報交換会議 令和2年12月24日
- ・ 第2回高病原性鳥インフルエンザ対策会議 令和3年 1月18日

イ. 安全・安心を高める体制整備

(ア) 食鳥処理の高度化を推進するための検討会の開催

(イ) 食鳥処理の省力化や衛生管理の高度化といった業界の直面する課題に対処するため、機械・施設面からのアプローチを検討し、機械・施設メーカー等への提言を取りまとめる検討会の開催については、コロナ禍の影響で機械・施設メーカーとの協議や調整が整わず開催できなかった。

ウ. 滞留鶏肉の一時保管及び食鳥処理場の再開に必要な設備及び機器のリース等に対する支援を行う。

(3) 国産鶏肉生産量等調査事業

(独) 農畜産業振興機構 事業費：4,950 千円

受託額：4,950 千円

成鶏及び地鶏等の処理羽数及び処理量を月単位で調査・集計し、毎月の生産動向を把握して国産鶏肉の安定供給に資することを目的に実施した。

(4) 地鶏普及推進事業

公益財団法人 全国競馬・畜産振興会 事業費：18,752 千円

助成金：15,002 千円

地鶏の振興を図るため、消費者等に対し、地鶏の生産から流通、小売、消費に亘る各種情報を発信し、地鶏の理解の醸成に努めるとともに、零細規模の生産者が連携して共同販売(リレー販売)を実施し、安定的な販路を確保することにより、食生活の多様化、地域経済の発展及び輸出の促進等を図る事業で、以下のとおり実施した。

ア. 地鶏特性解明事業

日本医科大学と委託契約を締結し地鶏の特性解明を行い、報告書に取りまとめた。

イ. 地鶏セミナー

9月25日姫路市で予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け中止とした。

ウ. 地鶏DVDの制作

地鶏の生産、処理加工、販売等一連の流れを消費者に紹介することを目的として、2年度は「東日本編」を制作した。

エ. 地鶏フェスティバル

全国2カ所で計画したが、

(ア) 9月19日～22日東京都練馬区で予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け中止した。

(イ) 11月7日～8日に名古屋市農業センターで実施した。

オ. 地鶏フェア

関係都道府県を通じて公募し、それぞれの地域の実態に即した事業を全国で7件計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、うち4件は中止とし、3件（比内地鶏、天草大王、対馬地どり）は実施した。

(5) 鶏肉輸出促進関連業務（畜産物輸出特別支援事業）

日本畜産物輸出促進協議会 事業費：4,693千円

委託費：4,466千円

鶏肉の輸出促進を図るため、日本畜産物輸出促進協議会の委託を受け、現地消費者への情報発信、鶏肉輸出統一ロゴマークの商標登録及び普及、海外におけるプロモーション活動等を実施する事業であるが、海外プロモーション活動については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、実施できなかった。

(6) 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業（農林水産省）

畜産物輸出産地緊急対策事業（令和元年度）（廃止）

「総合的なTPP等関連政策大綱」及び「安心と成長の未来を拓く総合経済大綱」に即した日本産鶏肉の海外市場開拓に向けたプロモーション戦略立案や、マーケットに適した日本産鶏肉製品を供給するための課題調査、課題解決に向けた検討会・研修会の開催等、日本産鶏肉の輸出拡大を図るための取組みを実施する計画であったが、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、検討会・研修会の開催及び現地調査の実施が困難となったため事業を廃止した。

(7) 畜産経営災害総合対策緊急支援事業（家きん経営災害緊急支援対策事業）

事業費：209,818千円

補助金：209,818千円

豪雨、大雪、台風、地震等の各種自然災害等により、家きん飼養経営体の経営に対して大きな影響を及ぼす被害が発生していることを受け、家きん飼養経営体の経営継続のため非常用電源をリース事業者から借り受けるリース料の軽減のため、その経費の一部を補助する取組みを実施した。

2 当協会の独自事業

(1) 国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業

(事業費 2,268 千円)

国産鶏肉の安定的な生産供給に資するため生産動向について調査を実施し、会員及び関係機関に情報を提供した。

(2) 国産鶏肉適正取引・表示等普及増進事業

(事業費 1,726 千円)

国産鶏肉の適正な取引及び食鳥処理場の品質管理向上等に関する研修会を開催する。また、各都道府県段階で行われる料理講習会等において、国産鶏肉の安全・安心、栄養や機能性等及び取引規格等に関する説明会を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響から、オンライン会議で2回開催した。

開催日	開催場所・開催形式	人員
令和3年2月 9日	オンライン会議	11名
令和3年2月16日	オンライン会議	20名

(3) 「国産チキンまつり」実施事業

毎年10月29日を「国産とり肉の日」と定めたこの日を中心に、全国統一イベント「国産チキンまつり」を開催し、本部・支部と連携し効果的に実施する。

なお、農林水産省の後援を受け、全国鶏肉消費促進協議会及び全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会と連携し取り組みを行った。

また、消費拡大に向けたイベントへの取り組みを、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を勘案し実施した。

○全国22都府県「全国統一・国産チキンまつり」実施状況

支部	開催日	実施内容
○東北支部		
岩手県	10/23～10/31	オヤマインターネット店舗国産チキンまつり
	10/23～10/24	アマタケ感謝祭り
	10/24	あべはんショップ国産チキンまつり
	9/28、10/13、10/20	地元高校・鶏肉普及啓蒙
	9/4、10/8	「岩手とり肉の日」学校給食・鶏肉普及啓蒙
	10/29～11/15	九戸村キングオブチキン感謝祭
宮城県	10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール
○関東支部		
栃木県	10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール
群馬県	10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール
	11/8	ビジネスフォーラム2020
	11/20	高崎えびす講
埼玉県	10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール
東京都	10月～11月	料理講習会
	10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール
神奈川県	10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール

○中部支部 岐阜県 愛知県	10/29～10/31 10/29～10/31	会員小売店舗等での協賛セール 会員小売店舗等での協賛セール
○関西支部 京都府 大阪府 兵庫県 広島県 香川県 徳島県	10/29～10/31 10/29～10/31 10/29～10/31 10/26～10/31 10/29～10/31 10/25 10/29～10/31	会員小売店舗での協賛セール 会員小売店舗での協賛セール 会員小売店舗での協賛セール から揚げ新商品試食・会員小売店舗での協賛セール 会員小売店舗での協賛セール 貞光感謝祭 会員小売店舗での協賛セール
○九州支部 山口県 福岡県 佐賀県 長崎県 宮崎県 鹿児島県	11/28 10/16・29、11/13・18・25 10/29～10/31 10/23～11/3 10/29 令和3年1月(中止) 11/14～11/15 11/15 11/28～11/29	深川養鶏特別販売会 料理講習会 会員小売店舗での協賛セール みつせ鶏本舗「がぼうまつり」 からあげドンドン店舗・からあげまつり JAさが農業まつり(中止) ながさき実り・恵みの感謝祭 2020 Karada Good Miyazaki フェスタ 2020 元気もりもり畜産フェア
○本部 沖縄県	11/29	うちな～いい肉の日

※全国の会員小売店舗等において、全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会と連携し「揚げておいしい若どりまつり」を10月29日(木)～31日(土)の同時期に開催した。

(4) 食鳥処理加工技能評価試験実施事業

(事業費 34,056千円)

新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮しながら外国人技能実習機構、試験官及び関係食鳥処理場等との連携を図りつつ円滑に実施した。

受検者数は年々増加傾向で推移していたが、昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響で86名の減少となった。

年度	初級・回/人		専門・回/人		上級・回/人		計・回/人	
平成30年度	248	1255	218	921	—	—	466	2176
令和元年度	300	1632	241	1038	21	72	562	2742
令和2年度	222	1190	242	1181	99	288	563	2659

また、技能評価試験運用マニュアル検討会を設置し、検討会を2回開催して運用マニュアルを作成した。

開催日	開催場所・開催形式	人員
令和2年7月9日	日本食鳥協会	8名
令和2年8月20日	日本食鳥協会	7名

(5) 国産鶏肉市場活性化対策事業

(事業費 7,780 千円)

「あんしんも、おいしさも。国産チキン」をコンセプトとした「国産チキンシンボルマーク」の一層の普及定着と活用を図り、国産チキンの安全・安心のシンボル化と国産鶏肉の消費拡大に向け、①市場活性化に向けた各種調査、②早急に着手すべき課題及び中長期に取り組むべき課題等の整理、③協会マスコットキャラクターのリニューアル、④各種販促資材の作成・配布、⑤協会創立60周年記念イベント等を実施した。

本事業の具体的な取組みについては、前年度に引き続き国産鶏肉市場活性化対策事業実行委員会において検討した。

ア 実行委員会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか3回中止となったものの、実開催で1回、Webにて2回開催した。

開催日	開催場所・開催形式	人員
中止 令和2年 4月23日	日本食鳥協会	—
中止 令和2年 6月 9日	日本食鳥協会	—
令和2年 7月16日	日本食鳥協会	9名
中止 令和2年 9月18日	日本食鳥協会	—
令和2年11月13日	オンライン会議	9名
令和3年 1月29日	オンライン会議	14名
令和3年 3月12日	オンライン会議	12名

イ 協会マスコットキャラクターのリニューアル

令和2年度年初より3月31日までに一般公募（327件の応募）を行い、全応募の中より最優秀賞1点、優秀賞2点を決定し、特許庁へ令和2年5月15日付けで商標登録出願を行った。

なお、新型コロナウイルスの感染症の影響から、登録完了の時期は令和3年6月頃の見込みである。

ウ 国産チキンシンボルマーク普及への新聞広告掲載および販促資材作成

(ア) 広告掲載新聞社：全国食鳥新聞社、鶏卵肉情報センター

(イ) 販促資材作成

販促資材	作成数
日本産チキンパンフレット（Zカード型）	10,000枚

(6) 協会創立60周年記念式典の開催

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、出席者を制限しながら終了後の祝賀会を中止として開催した。

ア 開催日時：令和2年10月29日（木）14:00～16:00

イ 場所：浜松町東京會館38階フォンテーヌルーム

ウ 出席者：47名（協会事務局5名含む）

エ 表彰：内部表彰を中止し、外部表彰10社を表彰した。

○感謝状（9社）：岩戸屋、国技館サービス、水月、玉ひで、鳥せゐ、鳥彌三、とり要、花善、ぼたん

○特別賞（1社）：㈱Mizkan

(7) 2020年度海外食鳥産業研修

新型コロナウイルス感染症の影響から、今年度は中止とした。

Ⅲ. 各部会の事業状況

1 小売部会

店頭小売の流通・販売段階において定期的に情報交換を行った。

また、当協会の主催する「国産チキンまつり」は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら開催し、消費者に国産鶏肉の安全安心を訴えるとともに消費拡大に努めた。

なお、運営委員会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、オンライン会議で開催した。

開催日	開催場所・開催形式	出席者
令和3年1月28日	オンライン会議	13名
令和3年3月11日	オンライン会議	8名

2 荷受部会

大消費地を中心とした鶏肉の需給価格動向について定期的に情報交換と情報提供を行い、鶏肉の流通改善を図るとともに中長期の需給調整と在庫の適正化に努めた。

なお、運営委員会は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン会議で開催した。

開催日	開催場所・開催形式	出席者
令和2年11月12日	オンライン会議	10名
令和3年1月28日	オンライン会議	15名
令和3年3月11日	オンライン会議	15名

3 生産加工部会

- (1) 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業に係る中央推進委員会及び地域協議会に参画し、緊急時の鶏肉処理体制整備と食鳥の集出荷を円滑に行うためのネットワークを整備した。また、生産流通段階における部会運営委員会を開催し、生産コストの低減を図る為、生産動向について定期的に情報交換を行い国内鶏肉生産の安定と流通改善に努めた。

なお、当協会が実施した国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業に協力するとともに、品質管理指導者養成研修会に参加し、安全で安心な国産鶏肉の安定生産に努めた。

運営委員会は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン会議で開催した。

開催日	開催場所・開催形式	出席者
令和2年11月12日	オンライン会議	24名
令和3年1月28日	オンライン会議	23名
令和3年3月11日	オンライン会議	21名

- (2) 主要産地協議会を開催し、食鳥産業を巡る諸課題について協議した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、第1回は中止となり、第2回はオンライン会議で開催した。

開催日	開催場所・開催形式	出席者
中止 令和2年10月14日	宮崎	—
令和3年 4月 8日	オンライン会議	31名

(3) 「農場指導者・管理獣医師グループ分科会」の創設

ア. 創設日：令和3年1月29日（金）

イ. 目的：会員間の情報交換等を行い、ブロイラー生産に関する技術・知識・意識レベルの向上を図る。

ウ. 開催頻度：年2回程度（防疫対策強化期間を除く）

4 種鶏孵卵部会

国産鶏肉の需給価格動向と見通し及び輸入鶏肉の需給動向について定期的に情報交換を行うとともに、適宜、鶏肉及びブロイラー用ひな需給見通し情報の提供に努めた。

IV. 総会・理事会等の会議開催状況

新型コロナウイルス感染症の影響で出席者を役員に限定、または、書面開催・オンライン会議で行った。

1 総会の開催

第60回定時総会

日 時：令和2年7月20日（月）15時

場 所：浜松町東京會館「オリオンルーム」

1. 報告事項

- (1) 令和元年度事業報告に関する件
- (2) 令和2年度事業計画に関する件
- (3) 令和2年度正味財産増減予算書に関する件

2. 議 事

- | | |
|-------|--|
| 第1号議案 | 令和元年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件 |
| 第2号議案 | 令和2年度会費の賦課並びに徴収方法に関する件 |
| 第3号議案 | 令和2年度借入金最高限度額に関する件 |
| 第4号議案 | 理事・監事選任に関する件及び理事・監事の報酬の額及びその支給基準に関する件 |
| 第5号議案 | 定款第4条「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律(平成28年法律第89号)に基づく、食鳥処理加工に係る技能実習評価試験に関する事業」の追加件 |

2 理事会の開催

(1) 第1回理事会

日 時：令和2年6月25日（木）

開 催：書面開催

議 案

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 令和元年度事業報告および貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件 |
|-------|----------------------------------|

- 第2号議案 令和2年度事業計画及び令和2年度正味財産増減予算書に関する件
第3号議案 理事・監事選任に関する件及び理事・監事の報酬の額及びその支給基準に関する件
第4号議案 定款第4条「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律(平成28年法律第89号)に基づく、食鳥処理加工に係る技能実習評価試験に関する事業」の追加の件
第5号議案 第60回定時総会議案承認の件
「報告事項」
 (1) 令和元年度事業報告に関する件
 (2) 令和2年度事業計画に関する件
 (3) 令和2年度正味財産増減予算書に関する件
「議 事」
 第1号議案 令和元年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件
 第2号議案 令和2年度会費の賦課並びに徴収方法に関する件
 第3号議案 令和2年度借入金最高限度額に関する件
 第4号議案 理事・監事選任に関する件及び理事・監事の報酬の額及びその支給基準に関する件
 第5号議案 第60回定時総会の書面開催の件

(2) 第2回理事会

日 時：令和2年7月20日(月)

開 催：浜松町東京會館

議案

- 第1号議案 役員を選任の件
 (1) 代表理事選任の件
 (2) 副会長選任の件
 (3) 専務理事選任の件
 (4) 部会長選任の件

(3) 第3回理事会

日 時：令和2年9月30日(水)

開 催：書面開催

議 案

- 第1号議案 報告に関する事項
1 補助事業等の概要と実施状況について
 (1) 国産食肉等新需要創出緊急対策事業
 (2) 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業
 (3) 国産鶏肉生産量等調査事業
 (4) 地鶏普及推進事業
 (5) 鶏肉輸出促進関連業務(畜産物輸出特別支援事業)
 (6) 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業(農林水産省)
 畜産物輸出産地緊急対策事業

- (7) 畜産経営災害総合対策緊急支援事業
(家きん経営災害緊急支援対策事業)

2 当協会の独自事業について

- (1) 国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業
- (2) 国産鶏肉適正取引・表示等普及増進事業
- (3) 「国産チキンまつり」実施事業
- (4) 食鳥処理加工技能評価試験実施事業
- (5) 国産鶏肉市場活性化対策事業
- (6) 協会創立60周年記念イベント

(4) 第4回理事会

日 時：令和2年11月13日（金）

開 催：オンライン会議

議 案

第1号議案 報告に関する事項

- (1) 各部会運営委員会の協議事項について
- (2) 各支部の活動状況及び協議事項について
- (3) 補助事業等の概要と実施状況について
 - ア 国産食肉等新需要創出緊急対策事業
 - イ 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業
 - ウ 国産鶏肉生産量等調査事業
 - エ 地鶏普及推進事業
 - オ 鶏肉輸出促進関連業務（畜産物輸出特別支援事業）
 - カ 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業（農林水産省）
畜産物輸出産地緊急対策事業
 - キ 畜産経営災害総合対策緊急支援事業
(家きん経営災害緊急支援対策事業)
- (4) 当協会の独自事業について
 - ア 国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業
 - イ 国産鶏肉適正取引・表示等普及増進事業
 - ウ 「国産チキンまつり」実施事業
 - エ 食鳥処理加工技能評価試験実施事業
 - オ 国産鶏肉市場活性化対策事業
 - カ 協会創立60周年記念イベント

(5) 第5回理事会

日 時：令和3年1月29日（金）

開 催：オンライン会議

議 案

第1号議案 報告に関する事項

- (1) 各部会運営委員会の協議事項について
- (2) 各支部の活動状況及び協議事項について

- (3) 補助事業等の概要と実施状況について
 - ア 国産食肉等新需要創出緊急対策事業
 - イ 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業
 - ウ 国産鶏肉生産量等調査事業
 - エ 地鶏普及推進事業
 - オ 鶏肉輸出促進関連業務（畜産物輸出特別支援事業）
 - カ 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業（農林水産省）
畜産物輸出産地緊急対策事業
 - キ 畜産経営災害総合対策緊急支援事業
（家さん経営災害緊急支援対策事業）
- (4) 当協会の独自事業について
 - ア 国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業
 - イ 国産鶏肉適正取引・表示等普及増進事業
 - ウ 「国産チキンまつり」実施事業
 - エ 食鳥処理加工技能評価試験実施事業
 - オ 国産鶏肉市場活性化対策事業
 - カ 協会創立60周年記念イベント
 - キ 2020年度海外食鳥産業研修
 - ク その他
 - (ア) 高病原性鳥インフルエンザに関する情報交換会議の開催
 - (イ) 高病原性鳥インフルエンザ対策会議の開催
 - (ウ) 生産加工部会への分科会の創設

第2号議案 会員の入会について

(6) 第6回理事会

日時：令和3年3月19日（金）

開催：オンライン会議

議案

第1号議案 報告に関する事項の件

- (1) 各部会運営委員会の協議事項
- (2) 各支部の活動状況及び協議事項
- (3) 補助事業等の概要と実施状況
 - ア 国産食肉等新需要創出緊急対策事業
 - イ 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業
 - ウ 国産鶏肉生産量等調査事業
 - エ 地鶏普及推進事業
 - オ 鶏肉輸出促進関連業務（畜産物輸出特別支援事業）
 - カ 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業（農林水産省）
畜産物輸出産地緊急対策事業
 - キ 畜産経営災害総合対策緊急支援事業
（家さん経営災害緊急支援対策事業）
- (4) 当協会の独自事業

- ア 国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業
- イ 国産鶏肉適正取引・表示等普及増進事業
- ウ 「国産チキンまつり」実施事業
- エ 食鳥処理加工技能評価試験実施事業
- オ 国産鶏肉市場活性化対策事業
- カ 協会創立60周年記念イベント
- キ 2020年度海外食鳥産業研修
- ク その他

(ア) 高病原性鳥インフルエンザに関する情報交換会議の開催

(イ) 高病原性鳥インフルエンザ対策会議の開催

(ウ) 生産加工部会への分科会の創設

第2号議案 令和3年度事業計画(案)及び、令和3年度正味財産増減 予算書(案)に関する件

第3号議案 会員の入会

V. 会員の異動状況

1 異動状況

部会\項目	会 員 数			
	期 首	入 会	退 会	期 末
小 売	22	0	1	21
荷 受	46	0	0	46
生産加工	79	4	0	83
種鶏孵卵	9	1	0	10
インテグレーター	5	0	0	5
機器・薬品等	24	1	0	25
合 計	185	6	1	190

2 入会・退会企業名

- (1) 入会 (種鶏孵卵) : (有)松尾孵卵場
 (生産加工) : (株)朝びき若鶏、コーチンミライズ(株)
 (株)雑治商店、(一社)大川村ふるさとむら公社
 (機器・薬品等) : NASCO(株)
- (2) 退会 (小売部会) : 西内商事(株)